

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第3号

2009.1.14
第3回会議
分野別に
深めようの巻

2009年の最初の会議となる「第3回きたかみ未来創造会議」が1月14日（水）に開催されました。

今回から、それぞれの分野別に分かれ、北上市の現状分析から、課題探しを行いました。

■第3回「きたかみ未来創造会議」の概要

はじめに前回のふりかえりを行ったあと、今後の会議の流れ(第5回までの具体的な検討内容)についての説明があり、その後グループワークを行いました。

今回の会議は2部構成。

はじめに第2回会議の続きから「北上市の良いところ、改善するところを見つけよう」をさらに深めました。

前回からの間に、課題について検討をされてきた方も多く、多くの意見が追加され、班ごとに北上市の長所と課題について把握することができました。

そして次は、いよいよ専門分野に分かれての検討です。

今回から希望する分野別の班を再構成して、北上市の課題を整理し、それに対する解決策を検討していく作業となりました。

今回はそのスタートとして、各班からそれぞれ分野別にどんな意見がでていたのかを確認し、その中から、北上市の課題について検討（掘り下げ）を行いました。

次回も専門分野別での検討となります。内容は、第3回の後半で実施した課題分析を掘り下げ、主要なテーマの選定、分野別の課題の追加・整理を行います。そして、それぞれの分野について、10年後の理想の状態についての検討を行います。

それぞれの興味のある分野、専門分野での検討で、議論の深まりが期待されます。

<次回開催について ※お願い >

次回も引き続き、『分野別の課題とは？』の検討を行います。配布された資料、今回の会議内容を再確認していただき、主要なテーマと課題について考えておきましょう。

※次回開催 日時：2月6日（金）18時30分～
場所：市民交流プラザ

○お問い合わせ 北上市政策企画課 64-2111 まで



北上市のよいところの検討



分野別のグループに再構成



分野別の課題検討



成果発表（中間）

分野名：

『保健福祉』 健康・子育て・医療・高齢者福祉・障がい者福祉等

「良いところ・改善するところ」分析からのキーワード

強いところ・良いところ

- 人口の増加
- 子どもが多い
- 子育て環境が優れている
- 開業医が多い
- 県立中部病院がある
- 市民力・高齢者パワーがある
- 高齢者へのサービスが充実
- 福祉施設の充実

弱いところ・改善するところ

- 子育てへの不安
- 保育施設の不足
- 県立病院への不安
(医療体制が不明確)
- 医師不足
- 介護環境の不足(施設・人材)
- 高齢化の進行
- 一人暮らしの高齢者の増加

第3回会議における課題分析(途中経過)

- ・市内に病院が多いので市民は安心できる。
- ・病院数が多くてよい
- ・医療機関がある
- ・おとなりさまの文化をもう一度見直す(おとなりを大事にする)
- ・県立北上病院の跡地の利用を高齢者交流施設にするよう進めてほしい
- ・自殺者防止への取り組みを進めるべきである
- ・地区防災の一人居対策を確立すべきである
- ・経済力の充実(保育料を安くしてほしい)
- ・市の将来の老人問題が心配です
- ・一人暮らし老人へのサポートが必要
- ・高齢者の地域生活と医療の不安を解消したい
- ・介護福祉施設が少ないので増やしてほしい
- ・介護施設を充実する必要がある。高齢者の介護のあり方を考えるべき。
- ・高齢者福祉施設の増設、資金のない老人にも入所できる施設
- ・高齢者が多い(知恵と知識を活用したい)
- ・老人クラブの地域活動を充実させる
- ・現在発足している傾聴ボランティアの組織を市として取り組んでいくべきだ
- ・後期高齢者だけの世帯も増えてきた。地区防災組織のきめ細かい対策が必要。
- ・医師が働きやすいようにする→休日の確保、医師増やしていく必要である
- ・医療体制を充実する必要がある
- ・子育てしやすい環境の整備を進める必要がある
- ・無認可の育児施設をなくし、公設、民営型の施設を増やす
- ・公立保育園の不足(0才児~の)
 - ・保育園での待機者を少なくしていく必要がある
- ・保育料を安くする
- ・0才児保育をする公立保育園を増やす
 - ・近隣とのふれあいを密にして助け合っていく必要がある
- ・元気老人のNPOをたちあげ、見守り活動する
- ・介護度に応じた介護サービスを受けられるようにしたい

分野名：

『教育文化』 学校教育・生涯学習・芸術文化・スポーツ等

「良いところ・改善するところ」分析からのキーワード

強いところ・良いところ

- 盛んな民俗芸能
- さくらホールを代表とする文教施設の充実
- 生涯学習の充実
- スポーツ施設の充実
- 活発な市民活動（教育・芸術・文化）
- 国見山などの歴史文化

弱いところ・改善するところ

- 高等教育機関がない
- 子どもの学力が低い
- スポーツ施策が不十分
- 芸術文化への意識の未浸透
- 地域の歴史・文化の未活用
- 地域のさまざまな人材の未活用

第3回会議における課題分析（途中経過）

- ・歴史文化の活用
- ・民族芸能の活性化
- ・子供の体験機会の多ジャンル化
- ・スポーツの活性化
- ・少子化後の教育対策対応
- ・学力の向上
- ・人材の活用
- ・生涯学習の充実した環境をのばす
- ・社会教育の場の充実
- ・家庭教育の充実
- ・高等教育の施設の充実
- ・民族芸能の財源不足
- ・民族芸能の担い手の育成
- ・民族芸能の良さをPRする機会を増やす
- ・民族芸能の付加価値を高める
- ・年配者の知識を生かす場が必要
- ・専門家が活躍する機会が必要
- ・専門家が活躍できる場、機会が必要
- ・充実したハード資源を生かすソフトが必要
- ・世代間の交流
- ・市内に大学がない
- ・高校生が市外へ

分野名：

『産業雇用』 農林漁業・工業・商業・観光（娯楽）・雇用対策等

「良いところ・改善するところ」分析からのキーワード

強いところ・良いところ

- 積極的な企業誘致
- 働く場が多い
- マンションなどの建設ラッシュ
- 多くの飲食店
- 中心商店街の活動の活性化

弱いところ・改善するところ

- 製造業が中心の産業構造
- 不安定雇用の増加
- 観光への取り組み不足
- 観光資源の不足
- 農業振興施策の不足
- 農業人口の減少・高齢化
- 中心市街地の空洞化

第3回会議における課題分析（途中経過）

- ・ゆたかな自然
- ・製造業企業の集積

- ・独自の物産がない
- ・観光資源を生かしきれない

- ・中心市街地の空洞化
- ・産業構造のかたより

- ・農業後継者の不足
- ・独自の物産品が少ない（造るべき…）
- ・観光PRが不足している
- ・観光資源を生かしきれない
- ・通年観光がない

- ・工業中心の産業構造
- ・派遣労働者が多い

- ・農業後継者・担い手の育成が必要
- ・農業の将来（担い手）に不安がある
- ・食料自給率を上げる

分野名：

『地域整備』

都市基盤・道路整備・公共交通・防災・景観 等

「良いところ・改善するところ」分析からのキーワード

強いところ・良いところ

- 市外との交通の利便性
- 基本的インフラの高い整備率
- 災害対策の充実
- 景観の保全

弱いところ・改善するところ

- 地域内公共交通が不便
- 自家用車に依存
- 生活道路で残る未整備区間
- 市中心部の空洞化
- 治安の低下
- 災害に対して低い意識
- 下水道の未活用
- 景観への取り組みが遅い

第3回会議における課題分析（途中経過）

- 高速交通体系や幹線道路は整備が進んでいる。これをもっと生かすことが大切。
 - ・今後インフラの整備には、金は掛けられない
 - ・高速交通の整備が進んでいるので、それを活用した観光等の集客に力を入れる必要
- 自然景観や農村景観が多く残っているので、これの保存が必要ではないか。
 - ・自然環境を生かした景観づくりが必要である。
- 災害が起きたときの対応する力が弱い。自主防は立ちあがっただけで中身これから。
 - ・防災組織が整備されてきた。→日頃からの訓練・付き合い
 - ・防災組織の周知・意識を高めることが必要
 - ・防災組織の向上をいかに図るか考える
- 公共交通機関の充実か！自動車利用の選択か！
 - ・自動車のクリーンエネルギー化必要だ
 - ・公共交通の充実が必要だ。中途半端だと車の便利さには勝てない。
バスがあれば、バス使うのか？車規制？
 - ・公共交通網の整備が必要
- ・我慢の度合を明確にする必要がある

分野名：

『生活環境』 自然環境・ゴミ対策・治安 等

「良いところ・改善するところ」分析からのキーワード

強いところ・良いところ

- 先進的なゴミ対策
- 高い下水道・農集排の整備率
- 防犯対策が整備
- 豊かな自然

弱いところ・改善するところ

- ゴミ減量への取り組み不足と方法の再検討が必要
- ゴミに対しての低い住民意識
- 開発による自然の減少
- 治安の低下

第3回会議における課題分析（途中経過）

- ゴミ問題
 - ・自然の多さと都市機能のバランスがある程度とれている
 - ・リバウンドしないように対策が必要
 - ・農作業の（草、ゴミ）も含めて対策が必要である
 - ・公共、河川のゴミの対策が必要である
 - ・さらなる減量対策
 - ・資源ゴミの減量がもっと必要である
 - ・ゴミステーションなど場所によってばらばら
 - ・ゴミステーション 統一性を高める必要がある
 - ・ゴミのマナーの向上
 - ・不法投棄
 - ・他地区からのゴミ捨てを防ぐ必要がある
 - ・ゴミGメンを増やす必要がある（枚限強化）
- 治安
 - ・街灯が少ない 組合
- 自然環境
 - ・清水の景が減っているのが問題がある
 - ・犬のフンのマナーの改善（向上）が必要
- その他
 - ・公害の危険性
 - ・ママチャリ

分野名：

『推進体制』 地域づくり・協働・行財政 等

「良いところ・改善するところ」分析からのキーワード

強いところ・良いところ

- 地域の特色ある取り組みが良い
- 地域活動のさかん
- 協働体制がある
- まちづくりの意識が高い
- 転入者を素直に受け入れる人間性
- 行政改革が前向き

弱いところ・改善するところ

- 理念・長期ビジョンがない
- 協働の責任分担が不透明
- 地域間の格差
- まちづくりへの意識に偏り
- コミュニティの希薄化
- 財政への不安
- 男社会

第3回会議における課題分析（途中経過）

- ・地域自治基本（16地区へ対応）条例の制定
- ・行政、市民、各地域 自治協の関係・役割を明確化するため自治基本条例が必要
- ・地域づくりに多様な価値観の人たちをどのようにしてまとめていくか？解決策？
- ・〈推進体制〉価値観のちがいの調整（地域格差）（世代のちがい）
- ・価値観の多様化による距離感が大きいのが。
ex) アパート⇔持家、若者⇔先輩
- ・長期ビジョンの立案が必要
- ・地域における協働のすすめ方（何をどうしたいかを示して…）
- ・(地域、行政、企業、団体の)協働を推進する
- ・何のために、誰のためにをよく話し合うこと→「民意に基づく」ことが大事で、都合の悪い意見、反対意見も大切にする。

<ふりかえりシートから>

○分野的には、充実しそうである！要期待！！

○・参加者の前向きな眼差しに、次回以降も、いい話し合いが出来ると感じた。

- ・ファシリテーターの進行よかった。
- ・次回も楽しみです。

○分野別の問題点が明確になってきました。方向性が見えて来たと思います。

○前2回に比べると、時間に余裕があってよかった。各自に話す間をくれたのも有難かった。それがないとどうでもいいようなことを長々と話す人がいたり、それで脱線したままになることがままあったから。

○とにかく時間が足りないです…。

○問題の共有が出来て良かった。

○本日3回目。かなり深い内容に入ってきた。一番身近な生活環境と手をあげたが、かなり難しい。しかし、皆で詰めていけば、大きなビジョンを掲げることができるような気がする。

○6つの分野の中では、構成メンバーの数が最も少ないにもかかわらず、当分野の出席者数が一番少なかった。次回以降の出席率の向上が課題である。

○ゴミの有料化に伴って、不法投棄が多い。その取り組みが必要だ。

○課題に深く突っ込んでいくにつれて、だんだん難しくなっていくなと感じました。しかし、やりがいも感じます。

○・具体的な課題がみえはじめてきたので、次回を楽しみにしたいと思います。

- ・意見の書き方（文章の語尾）に迷うことがよくあります。次回も教えてもらいながら、楽しく参加させていただきたいと思います。

○これからの市民活動は「おとなり」を大事する。お互いさまの文化が大事だと思っております。もう一度、助けあう市民運動を育ててゆきたい。

○班替えにより今までの課題を離れたばかりなので、まだまだ1班の方向性が見いだせない。

○分野別に分かれての話し合いで課題をほり下げて話し合われたのが、良いと思いました。（今回、欠席者が多かったので、次回は、皆が参加できると良いと思う。）

○主要な課題をさらに具体的改善するところを考えるのが難しかった。抽象的なものを具体的に考えていくのは、ものごとを考えていくのに役立つと思います。

○いよいよ重要な場面に入って来ました。推進体制は大変力ギとなるもので、総合計画の実行性、実現性を求められるので、慎重に検討して行きたい。

○推進体制のグループに入ったが、今後大切なグループと思います。今後の取組に意欲を持っています。

○説明不足もあったようですが、第2部に頭の切り替わりが遅かったようです。

○地域づくりを、どうにかしたいと思う気持ちでこの所属を希望したが、むずかしい分野です。勉強しながら頑張っていきたい。

○9名全員の参加で、各々の考えもしっかりしていて、とても活発な話し合いとなりました。今後にも期待できます。

○イメージと実際の姿にはギャップがあると感じた。他の班の討議結果を聞くのも楽しみであった。

○統計データがいろいろ必要と思った。(農業、商業、工業他)

○分野についての大きな課題も出され、いよいよこれから深く掘り下げていかなければならない。これからだ。

○教育文化の班に参加する一般市民の方が少なかったことに、最も問題を感じています。

○課題○問題を述べて、意思統一するという作業は、本当に難しいと感じた。非常に勉強になり、参加してよかったと思った。

○データの前提より、イメージで議論が進んでいないか？現状の把握と将来の動向、あるべき姿について、正確な議論がのぞまれる。

○ほかのグループの発表を聞いて、教育文化(学○生○芸○スポ)以外にも今後10年をおもとうと環境教育やネット普及による情報モラル教育なんかもあるなあと思いました。

○あるものをもっと活かそう！

○時間をもう少しとって、じっくりと検討した方がよいと思います。

○「推進体制」グループの役割が分からない。本会全体の推進のためか。地域づくり体制の推進なのか？

○1. まず「分野」に少々違和感があった。出来れば産業雇用を担当したかったが、私以上にオーソリティが居るのであればやむを得ない。(本席はポツリポツリとしよう)
2. 発言も「地域較差」「農業」そして「産業」以外は抑制的に取り組みましょう
3. 楽しくないモノにはタッチしない事をモットーとして行く。

○観光資源(自然、景観)を生かしたシステム、

PRをいろいろ検討していきたい。

○地元に対する知識が不足していることが多くの問題のもとになっているのではないかと感じました。

○恵まれた環境に甘えている部分が多いことに気付いた。

○次回も参加のつもりです。

○もう少し課題をはっきりさせる必要があるような気がする。

○本格的なスタート。6班のテーマは広い！！改めて勉強しなおしていきたい。

○・方針にくみこまれるようにまとめてほしい。
・断片的な内容のラ列では意味がない。